

社会への興味		$\alpha=.738$	69	70
68	地域や社会で起こっている問題について知りたい		.575	.401
69	ニュースを見たり聞いたりして、不思議に思うことがある			.479
将来への意識		$\alpha=.808$	78	79
77	将来の自分を想像するとわくわくする		.578	.539
78	将来、何をしたいか具体的に考えている			.634
		I	II	III
<勉強に対する有用感—将来, 自己>		$\alpha=.906$		
51	勉強することは将来のためになる	.885	-.143	-.039
55	勉強することは、自分にとって重要だ	.832	-.047	-.041
42	この先さらに勉強していくために、今、勉強することは重要だ	.783	.017	-.018
45	勉強をすることは、将来、仕事の役に立つと思う	.777	-.070	-.049
54	勉強の内容は生活に活かせると思う	.700	.019	-.019
56	勉強は、自分で進んでする価値がある	.682	.120	-.001
50	勉強をすると自分がもっと成長できると思う	.678	.055	.083
41	勉強をするとなりたい自分に近づける	.474	.250	.082
<勉強に対する有用感—興味>		$\alpha=.894$		
44	勉強のことを考えると楽しい気分になる	-.133	.930	-.004
46	勉強には興味がわく	.055	.825	-.048
43	勉強は面白い	.074	.822	-.052
49	勉強のことを考えると、わくわくすることがある	-.036	.790	-.014
<勉強に対する有用感—他者比較>		$\alpha=.694$		
53	勉強ができるとかっこいいと思う	.013	.040	.779
47	勉強ができると、人よりも優れていると感じる	.062	.106	.596
48	勉強ができないのはかっこわるいと思う	.123	-.043	.548
52	勉強ができて、自慢にならないと思う	.168	.160	-.541
	因子間相関	II	.549	.509

		I	II
<学校への期待—学習内容>		$\alpha=.932$	
59	これから学校で学ぶ内容は面白そうだ	.968	-.044
58	これから学校で学ぶ内容は楽しそうだ	.907	.016
60	これから学校で学ぶ内容は興味をもてそうだ	.830	.054
<学校への期待—教師>		$\alpha=.902$	
62	学校の先生は、わたしたちの立場にたって教えてくれそうだ	-.014	.909
63	学校の先生は、わたしたちがわかるようになることを応援してくれそうだ	.022	.847
61	学校の先生は、わたしたちが勉強することを一番に考えてくれそうだ	.013	.839
因子間相関			.508

積極性		$\alpha=.825$	72	73	74	75	76
71	少々反対されても、自分が正しいと思う考えを主張できる	.463	.403	.411	.344	.356	
72	少し難しそうなことにチャレンジしたことがある		.447	.478	.483	.429	
73	何にでも積極的に参加する			.480	.434	.416	
74	何かするとき、“ほかに方法はないかな”と考えるのが好きだ				.495	.515	
75	失敗しても、めげずにがんばったことがある					.451	
キャリア意識—関与							
		$\alpha=.817$	82	84	86		
80	今自分で決めたことが将来の自分につながると考えること	.570	.495	.523			
82	将来に向けて気持ちの準備をすること		.444	.557			
84	自分がなりたい職業に興味を持つこと			.577			

キャリア意識—コントロール		$\alpha=.763$	83	85	87
81	自分自身で物事を決めていくこと		.420	.592	.366
83	前向きでいること			.462	.396
85	物事を自分の力で進めていくこと				.442

児童質問紙 B の、探索的因子分析で見出された 12 因子を説明変数、学力代理変数を従属変数とした重回帰分析（ステップワイズ法）を行った。

$R^2=.718$	全体			
	非標準化係数	標準化係数 (β)	r	VIF
学習に対する有用感—将来、自己	0.23	0.13	.611	2.33
キャリア形成の資質・能力—関心	-0.15	-0.09	.435	1.80
算数に対する有能感	0.86	0.31	.648	1.52
学習に対する有用感—興味	0.29	0.10	.620	2.31
社会に対する興味	0.39	0.12	.565	1.83
国語に対する有能感	0.76	0.17	.569	1.51
学習に対する有用感—他者比較	0.03	0.01	.362	1.38
学習動機付けの調整—外発的	0.04	0.01	.432	1.56
キャリア形成の資質・能力—コントロール感	0.28	0.15	.642	2.44
学校への期待—教師	0.35	0.09	.449	1.52
学校への期待—学習内容	-0.01	0.00	.597	2.46
学習動機付けの調整—内発的	0.25	0.15	.700	2.69

分析の結果、学習に対する有用感—将来、自己に該当する第 1 因子、キャリア形成の資質・能力—関心に該当する第 2 因子、算数に対する有能感に該当する第 3 因子、学習に対する有用感—興味に該当する第 4 因子、国語に対する有能感に該当する第 6 因子、キャリア形成の資質・能力—コントロール感に該当する第 9 因子、学校への期待—教師に該当する第 10 因子、学習動機付けの調整—内発的に該当する第 12 因子が、有意な影響のある説明変数であることが分かった。

新規提案項目を説明変数、学力代理変数を従属変数とした重回帰分析（ステップワイズ法）を行った結果、学習動機づけの調整方略—内的に関する項目からなる変数、算数に対する有用感に関する項目からなる変数、国語に対する有用感に関する項目からなる変数、社会への興味に関する項目からなる変数、国語に対する有能感に関する項目からなる変数、国語に対する有能感に関

する項目からなる変数、学習方略—暗記、繰り返し学習に関する項目からなる変数が、有意な影響のある説明変数であることが明らかとなった。

$R^2=.685$	非標準化係数	標準化係数 (β)	r	VIF
国語に対する有用感	0.43	0.10	.573	2.32
算数に対する有用感	0.72	0.17	.641	2.65
国語に対する有能感	0.91	0.21	.571	1.69
算数に対する有能感	0.93	0.25	.616	2.05
学習動機づけの調整—外的	0.08	0.03	.435	1.52
学習動機づけの調整方略—内的	0.39	0.12	.644	2.13
学習方略—暗記、繰り返し学習	0.39	0.11	.570	1.92
社会への興味	0.84	0.20	.541	1.52
将来への意識	-0.10	-0.03	.364	1.34

妥当性項目を説明変数、学力代理変数を従属変数とした重回帰分析（ステップワイズ法）を行った結果、積極性に関する項目からなる因子、勉強に対する有用感—興味に関する項目からなる因子、学校への期待—教師に関する項目からなる因子、勉強に対する有用感—将来、自己に関する項目からなる因子、学校への期待—学習内容に関する項目からなる因子、キャリア意識—コントロールに関する項目からなる因子が、有意な影響のある説明変数であることが明らかとなった。

	妥当性項目			
$R^2=.573$	非標準化係数	標準化係数 (β)	r	VIF
勉強に対する有用感—将来、自己	0.30	0.13	.547	1.92
勉強に対する有用感—興味	0.67	0.24	.615	2.13
勉強に対する有用感—他者比較	0.01	0.00	.275	1.23
学校への期待—学習内容	0.36	0.10	.592	2.32
学校への期待—教師	0.48	0.12	.445	1.47
積極性	0.78	0.34	.656	2.11
キャリア意識—関与	-0.12	-0.03	.449	2.30
キャリア意識—コントロール	0.25	0.07	.485	2.42

1.3. 独自生徒調査の調査用紙 A に関する分析

次に、独自に行われた生徒調査の調査用紙 A についても、同様の手続きによって分析を行った。まず、記述統計量を算出した結果は以下の通りである。

No	項目	平均	標準 偏差
1	誘惑に負けず、計画的に行動できる	2.50	0.80
2	なにごとにも我慢できず、なまけてしまう	2.54	0.79
3	だらけてしまう	2.25	0.87
4	誘惑に負けない	2.55	0.79
5	よくないことと知りつつ、やめられない時がある	2.65	0.94
6	他の楽しいことに夢中になり、やるべきことがそっちのけになることがある	2.04	0.84
7	家の人（兄弟姉妹は含みません）と学校での出来事や友人関係について話をしますか	1.96	1.00
8	家の人（姉妹は含みません）に放課後や休日どこで何をしているか話をしますか	2.19	1.06
9	親は私が放課後や休日どこで何をしてるかを知っている	1.87	0.95
10	親は私の友人関係を知っている	1.82	0.88
11	親は学校での出来事をよく聞いてくる	2.18	0.98
12	今住んでいる地域の人たちに、ほめられたり、しかられたりしたことがある	2.66	1.09
13	今住んでいる地域の人たちとあいさつをしたり、はなしをしたりする	2.09	0.97
14	地域の子どもが参加する、自然体験活動（ハイキングなど）や季節行事（もちつきなど）に参加する	2.99	0.98
15	公園の掃除や、花・木を植えるなど地域をきれいにする活動に参加する	2.93	1.04
16	地域で行う廃品回収（リサイクル活動）やバザーを手伝う	2.89	1.09
17	地域の伝統技術（伝統芸）体験に参加する	3.54	0.74
18	近所の人にほめられる	2.74	1.02
19	近所に住んでいる大人と挨拶したり、話をしたりする	2.11	0.97
20	友だちの家へ行ったとき、友達の親とも話をする	2.05	0.92
21	あなたは、はきはきとした気持ちのよいあいさつをしていますか	2.07	0.84
22	あなたは、自分の名前が呼ばれたら、きちんと返事をしていますか	1.69	0.74
23	あなたは、友だちが困っていたら、何かできることをしていますか	1.76	0.73

24	あなたは、学級のみんなで話し合っ て決めたことについて、協力して活 動していますか	1.85	0.77
25	あなたは、友だちの悪口を言わない ようにしていますか	1.99	0.87
26	あなたは、友だちにうそをつかない ようにしていますか	1.88	0.81
27	あなたは、友だちが謝ったら許したり、 友だちの失敗や間違いに対して文句 を言わず、優しく接したりしていますか	1.74	0.72
28	あなたは、自分が使ったものを、き ちんと後片付けしていますか	1.60	0.74
29	あなたは、自分の身の回りの整理・ 整頓を、きちんとしていますか	1.88	0.87
30	道徳の授業は、自分の今の生活や 将来にとってためになると思う	2.27	0.97
31	道徳の授業では、自分を見つめ、 自分の生き方について考えを深める ことができた	2.22	0.94
32	道徳の授業において、様々な問題 や課題についてグループや学級で考 え話し合う活動に取り組んでいた と思う	2.26	0.91
33	私のことをわかってくれている先 生がいる	2.12	0.95
34	自分がわからないことや疑問を先 生にきくことができる	1.97	0.93
35	自分がわからないことや疑問を友 達にきくことができる	1.51	0.75
36	課題（問題）を解決するために、ど のように学習していけばよいかわか っている	2.18	0.91
37	授業で学習していることに対して 「なぜだろう？」「どうしてだろう？」 と考えたくなる。	2.01	0.95
38	授業中に、他によい考えがないか どうか考えながら学習している	2.30	0.90
39	自分の考えをもって真剣に話し合 いに参加している	2.06	0.87
40	意見を言うときは、理由も言うよ うにしている	2.14	0.94
41	話し合いのとき、適当に友達の意 見に合わせることもある	2.45	0.92
42	話し合いを終えると自分の考えが 広がったり深まったりしている	2.14	0.87
43	先生の説明を聞く授業が好きだ	2.59	0.97
44	学級やグループで、話し合う授業 が好きだ	2.17	1.02
45	自分で（自分達で）情報を集めて 課題を解決する授業が好きだ	2.37	1.01
46	授業中に、計算問題や漢字練習に 何度も取り組んだ	2.25	0.91
47	授業の最後に「わかった」「でき た」「よく頭を使った」などと感じ ることが多い	2.23	0.90
48	授業で学習したことを友達や家の 人によく話す	2.64	1.03
49	授業でわからなかったことや不 思議に思ったことを自分で調べる ことがある	2.40	1.01

50	自分ひとりでも勉強ができるようになりたい	1.46	0.81
51	独りぼっちのような気がする	3.12	0.94
52	いつも、何をしても楽しい	2.32	1.00
53	失敗しないかいつも心配している	2.06	1.00
54	自分の知らないことに興味を持つ	1.93	0.93
55	まわりに親切な人が多い	1.75	0.77
56	自分のことを好ましく感じる	2.75	0.93
57	自分にはいろいろな良い素質があると思う	2.73	0.96
58	できそうにないことでも、考えることがある	2.10	0.94
59	活動的で、何についても前向きである	2.49	0.94
60	学級みんなで協力して、なにかをやり遂げたことがある	1.66	0.82
61	話し合いのときにみんなの意見を一つにまとめることができる	2.55	0.95
62	人が困っているときには、協力することができる	1.82	0.79
63	授業で習ったことを深く理解するために、自ら考え、自分から取り組んでいたと思う	2.11	0.84
64	きめられた仕事は責任を持ってやりとおす	1.53	0.69
65	会や集まりの時、人より進んで働く	2.24	0.86
66	自分で計画を立てて勉強をしている	2.46	0.94
67	自分で立てた計画通りに進まないとき、計画を見直した	2.71	0.98
68	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含みます）をしますか	3.55	1.45
69	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含みます）	2.76	1.23
70	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含みます）	2.24	1.41
71	学校の宿題をしている	1.46	0.75
72	授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思う	1.78	0.79
73	国語の授業の内容はよく分かる	2.07	0.88
74	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いている	2.09	0.88
75	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめりに内容を理解し	2.10	0.87

	ながら読んでいる		
76	国語のテストで、解答を文章で書く問題に対してどのように解答して いますか	1.25	0.48
77	数学の勉強は好きだ	2.37	1.10
78	数学の授業の内容はよく分かる	2.25	0.98
79	数学の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたい	2.41	1.11
80	数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考 える	2.17	0.97
81	数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけ〔根拠〕を理解するよ うにしている	2.22	0.99
82	数学のテストで、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題 について、どのように解答していますか	1.43	0.57
83	理科の勉強は好きだ	2.05	0.96
84	理科の授業の内容はよくわかる	2.10	0.90
85	理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか 考えている	1.93	0.88
86	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り 返って考えている	2.18	0.91
87	理科のテストの問題で、解答を文章などで書く問題について、どのよう に解答していますか	1.28	0.50

学力代理変数との相関分析、重回帰分析の結果は以下の通りであった。

$R^2=.641$	非標準化 係数	標準化係 数 (β)	r	VIF	
1	誘惑に負けず、計画的に行動できる	0.19	0.01	.253	2.02
2	なにごとにも我慢できず、なまけてしまう	-0.28	-0.02	-.220	1.94
3	だらけてしまう	-0.06	-0.01	-.241	2.08
4	誘惑に負けない	-0.40	-0.03	.206	1.91
5	よくないことと知りつつ、やめられない時があ る	0.12	0.01	-.080	1.43
6	他の楽しいことに夢中になり、やるべきことが そっちのけになることがある	-0.37	-0.03	-.158	1.58
7	家の人（兄弟姉妹は含みません）と学校での出	-0.25	-0.02	.145	2.01

	来事や友人関係について話をしますか				
8	家の人（兄弟姉妹は含みません）に放課後や休日どこで何をしているか話をしますか	-0.11	-0.01	.185	2.27
9	親は私が放課後や休日どこで何をしてるかを知っている	0.79	0.07	.226	1.89
10	親は私の友人関係を知っている	-0.62	-0.05	.171	1.87
11	親は学校での出来事をよく聞いてくる	0.03	0.00	.212	1.70
12	今住んでいる地域の人たちに、ほめられたり、しかられたりしたことがある	-0.28	-0.03	.146	1.87
13	今住んでいる地域の人たちとあいさつをしたり、はなしをしたりする	0.04	0.00	.197	2.59
14	地域の子どもが参加する、自然体験活動（ハイキングなど）や季節行事（もちつきなど）に参加する	0.28	0.03	.185	1.88
15	公園の掃除や、花・木を植えるなど地域をきれいにする活動に参加する	-0.05	-0.01	.176	1.68
16	地域で行う廃品回収（リサイクル活動）やバザーを手伝う	-0.19	-0.02	.143	1.37
17	地域の伝統技術（伝統芸）体験に参加する	0.26	0.02	.123	1.48
18	近所の人にほめられる	0.23	0.02	.190	2.30
19	近所に住んでいる大人と挨拶したり、話をしたりする	-0.17	-0.02	.177	2.68
20	友だちの家へ行ったとき、友達の親とも話をする	-0.34	-0.03	.175	1.57
21	あなたは、はきはきとした気持ちのよいあいさつをしていますか	0.07	0.01	.286	1.93
22	あなたは、自分の名前が呼ばれたら、きちんと返事をしていますか	0.67	0.05	.317	1.78
23	あなたは、友だちが困っていたら、何かできることをしていますか	-0.65	-0.04	.224	2.07
24	あなたは、学級のみんで話し合っただけで決めたことについて、協力して活動していますか	0.57	0.04	.326	1.90
25	あなたは、友だちの悪口を言わないようにしていますか	-0.17	-0.01	.181	1.61

26	あなたは、友だちにうそをつかないようにしていますか	-0.08	-0.01	.163	1.56
27	あなたは、友だちが謝ったら許したり、友だちの失敗や間違いに対して文句を言わず、優しく接したりしていますか	-0.07	-0.01	.170	1.61
28	あなたは、自分が使ったものを、きちんと後片付けしていますか	0.26	0.02	.194	1.95
29	あなたは、自分の身の回りの整理・整頓を、きちんとしていますか	-0.05	0.00	.183	1.82
30	道徳の授業は、自分の今の生活や将来にとってためになると思う	0.38	0.03	.218	2.47
31	道徳の授業では、自分を見つめ、自分の生き方について考えを深めることができた	-0.64	-0.06	.267	2.90
32	道徳の授業において、様々な問題や課題についてグループや学級で考え話し合う活動に取り組んでいたと思う	0.03	0.00	.351	2.22
33	私のことをわかってくれている先生がいる	-0.02	0.00	.238	1.69
34	自分がわからないことや疑問を先生にきくことができる	0.06	0.01	.375	1.94
35	自分がわからないことや疑問を友達にきくことができる	0.08	0.01	.315	1.80
36	課題（問題）を解決するために、どのように学習していけばよいかわかっている	1.63	0.13	.561	1.81
37	授業で学習していることに対して「なぜだろう？」「どうしてだろう？」と考えたくなる。	0.58	0.05	.490	1.74
38	授業中に、他によい考えがないかどうか考えながら学習している	1.25	0.10	.574	2.13
39	自分の考えをもって真剣に話し合いに参加している	-0.11	-0.01	.536	2.67
40	意見を言うときは、理由も言うようにしている	1.64	0.14	.562	2.22
41	話し合いのとき、適当に友達の意見に合わせることがある	0.31	0.03	.023	1.21
42	話し合いを終えると自分の考えが広がったり深まったりしている	-0.23	-0.02	.442	1.90
43	先生の説明を聞く授業が好きだ	0.02	0.00	.293	1.34

44	学級やグループで、話し合う授業が好きだ	-0.01	0.00	.295	1.56
45	自分で（自分達で）情報を集めて課題を解決する授業が好きだ	0.52	0.05	.418	1.52
46	授業中に、計算問題や漢字練習に何度も取り組んだ	0.48	0.04	.434	1.57
47	授業の最後に「わかった」「できた」「よく頭を使った」などと感じることが多い	1.53	0.13	.570	1.91
48	授業で学習したことを友達や家の人によく話す	-0.11	-0.01	.313	1.66
49	授業でわからなかったことや不思議に思ったことを自分で調べることがある	0.37	0.03	.489	1.78
50	自分ひとりでも勉強ができるようになりたい	0.60	0.04	.236	1.27
51	独りぼっちのような気がする	0.04	0.00	-.090	1.49
52	いつも、何をしても楽しい	-0.18	-0.02	.211	1.59
53	失敗しないかといつも心配している	0.07	0.01	.036	1.38
54	自分の知らないことに興味を持つ	0.78	0.07	.331	1.44
55	まわりに親切な人が多い	0.48	0.03	.245	1.57
56	自分のことを好ましく感じる	0.06	0.01	.264	2.35
57	自分にはいろいろな良い素質があると思う	-0.04	0.00	.288	2.46
58	できそうにないことでも、考えることがある	0.53	0.05	.376	1.62
59	活動的で、何についても前向きである	-0.14	-0.01	.352	2.06
60	学級みんなで協力して、なにかをやり遂げたことがある	-0.10	-0.01	.313	1.78
61	話し合いのときにみんなの意見を一つにまとめることができる	0.09	0.01	.398	1.72
62	人が困っているときには、協力することができる	0.13	0.01	.337	2.24
63	授業で習ったことを深く理解するために、自ら考え、自分から取り組んでいたと思う	2.94	0.22	.664	2.26
64	きめられた仕事は責任を持ってやりとおす	0.65	0.04	.297	1.51
65	会や集まりの時、人より進んで働く	-0.23	-0.02	.415	1.87
66	自分で計画を立てて勉強をしている	1.69	0.14	.468	2.18
67	自分で立てた計画通りに進まないとき、計画を見直した	0.07	0.01	.355	1.76

次に、最尤法、プロマックス回転による因子分析を行った結果、以下の7因子が見出された。

	1	2	3	4	5	6	7
I <主体的, 対話的な学習活動>	α=.903						
38	.843	-.182	.063	.009	-.047	-.083	.007
40	.801	.083	-.080	-.040	-.021	-.081	-.060
63	.790	-.062	-.057	.077	.000	.039	-.050
49	.719	-.087	.065	.081	.004	-.125	-.085
37	.715	-.028	-.018	-.035	.011	-.094	-.006
39	.710	.144	-.008	.023	-.068	-.054	.039
47	.654	-.014	-.032	.036	.075	-.021	.007
36	.630	.084	-.202	.096	.021	.028	-.036
45	.541	-.019	.034	-.047	.004	-.041	.032
42	.507	.132	.052	-.067	-.016	.021	.121
46	.472	-.012	.008	.141	.131	-.087	-.003
61	.444	.146	.028	.017	-.068	.107	-.056
34	.383	.177	-.047	-.132	.070	.125	.014
65	.369	.204	.139	.160	-.081	.048	-.037
54	.347	.077	.032	-.191	-.012	.129	.005
58	.332	.009	.048	-.157	-.050	.316	.018
43	.323	-.066	.021	.014	-.020	.055	.169
44	.302	.173	.038	-.096	-.015	.107	.069
II <対人関係能力>	α=.842						
23	.005	.684	.069	-.037	.023	-.001	-.069
62	.173	.630	.021	-.034	-.031	.027	-.047
27	-.108	.593	-.043	.099	.016	-.104	.102
28	-.071	.556	-.076	.242	-.017	-.081	.011
24	.144	.544	-.012	.080	-.026	-.068	.118
22	.176	.513	.132	-.057	-.034	-.071	-.053
35	.275	.470	-.163	-.156	.102	-.010	-.031
26	-.116	.445	-.087	.159	.111	-.004	.118
60	.156	.442	.001	-.104	.015	.091	.029
29	-.026	.428	-.103	.284	.001	-.020	.000

25	-.070	.421	-.065	.158	.011	-.068	.162
64	.079	.382	-.010	.196	-.030	.006	-.005
51	.139	-.353	.201	-.041	-.065	-.272	.054
55	-.049	.340	-.038	-.067	.073	.247	.092
III	<地域との関わり>				$\alpha=.834$		
18	-.042	-.030	.785	.015	-.033	.031	.029
13	-.082	.124	.784	.017	.024	-.049	-.045
19	-.112	.270	.750	-.013	-.020	-.078	-.058
12	.031	-.144	.681	-.078	.052	.044	-.016
14	.007	-.167	.567	.102	.039	.022	.063
15	.001	-.046	.450	.126	.022	-.048	.123
17	.070	-.284	.414	.086	.021	.003	.120
21	.098	.364	.385	.027	-.114	.044	-.078
20	-.003	.312	.333	-.121	.123	.006	-.102
16	.061	-.052	.294	.026	.058	-.066	.124
IV	<セルフ・コントロール>				$\alpha=.817$		
3	-.034	-.005	-.057	-.660	-.012	-.088	.035
1	.030	.009	.066	.639	.019	.087	-.024
2	-.014	-.132	-.001	-.632	.026	-.037	.052
4	-.048	.056	.074	.614	.007	.084	.034
6	.007	-.030	-.041	-.585	.039	-.003	.029
66	.390	-.058	-.013	.451	.046	.039	-.035
5	.148	-.285	.039	-.439	-.033	.089	-.033
67	.309	-.075	.008	.355	.024	.011	.067
V	<家族とのコミュニケーション>				$\alpha=.828$		
8	-.005	.020	.058	-.006	.791	-.064	-.020
7	-.059	.040	.079	-.014	.711	-.013	-.012
9	.041	.040	-.044	.041	.677	-.061	-.022
10	-.083	.145	-.055	-.012	.660	.051	-.008
11	.069	-.059	.097	.000	.573	.052	.001
48	.292	-.119	.099	.005	.385	.087	-.017
VI	<自尊意識>				$\alpha=.717$		
57	-.004	-.120	-.025	.050	-.019	.889	.013

56	-.069	-.108	-.021	.071	.011	.888	.010
59	.130	.117	.086	.091	-.058	.521	-.015
52	-.037	.215	.021	-.010	.043	.407	-.013
53	.145	-.035	.006	-.196	.070	-.284	.139
VII <道徳の授業の有用感>					$\alpha=.846$		
31	.016	.079	.046	-.042	-.033	-.031	.855
30	-.085	.048	.061	-.010	-.018	-.012	.839
32	.191	.145	.041	-.043	-.024	.009	.540
33	.033	.075	.029	.009	.106	.206	.237
	1	.585	.474	.303	.399	.535	.458
	2		.511	.202	.457	.500	.438
	3			.072	.418	.361	.350
	4				.151	.170	.242
	5					.344	.349
	6						.360

続いて、新規項目を対象として領域ごとに因子分析、相関分析を行った。

基本的生活習慣		2
1	誘惑に負けず、計画的に行動できる	-.406
家庭でのコミュニケーション		8
7	家の人（兄弟姉妹は含みません）と学校での出来事や友人関係について話をしますか	.621
地域との関わり		13
12	今住んでいる地域の人たちに、ほめられたり、しかられたりしたことがある	.517
道徳の有用感		
		$\alpha=.846$
		31
		32
30	道徳の授業は、自分の今の生活や将来にとってためになると思う	.738
		.552

31	道徳の授業では、自分を見つめ、自分の生き方について考えを深めることができた			.649
<hr/>				
	自尊感情			57
<hr/>				
	56 自分のことを好ましく感じる			.723
<hr/>				
		I	II	III
<hr/>				
	<主体的で深い学び>	α=.821		
49	授業でわからなかったことや不思議に思ったことを自分で調べることがある	.733	-.113	.007
46	授業中に、計算問題や漢字練習に何度も取り組んだ	.633	-.028	-.063
47	授業の最後に「わかった」「できた」「よく頭を使った」などと感じることが多い	.607	.076	.056
48	授業で学習したことを友達や家の人によく話す	.554	.145	-.163
38	授業中に、他によい考えがないかどうか考えながら学習している	.478	-.164	.395
37	授業で学習していることに対して「なぜだろう?」「どうしてだろう?」と考えたくなる	.457	.052	.176
43	先生の説明を聞く授業が好きだ	.411	.190	-.114
50	自分ひとりでも勉強ができるようになりたい	.339	.149	-.124
36	課題(問題)を解決するために、どのように学習していけばよいかわかっている	.314	.138	.239
45	自分で(自分達で)情報を集めて課題を解決する授業が好きだ	.295	.039	.235
<hr/>				
	<対話的な学び>	α=.673		
34	自分がわからないことや疑問を先生にきくことができる	.013	.763	.011
33	私のことをわかってくれている先生がいる	.079	.637	-.155
35	自分がわからないことや疑問を友達にきくことができる	-.058	.519	.178
<hr/>				
	<対話的で深い学び>	α=.649		
39	自分の考えをもって真剣に話し合いに参加している	.071	.021	.760
40	意見を言うときは、理由も言うようにしている	.118	-.061	.708

44	学級やグループで、話し合う授業が好きだ	-.089	.262	.416
42	話し合いを終えると自分の考えが広がったり深まったりしている	.179	.181	.384
41	話し合いのとき、適当に友達の見解に合わせることもある	.140	.160	-.260
因子間相関		II	.599	.758
		III		.570

		I	II
<対人関係能力>		$\alpha=.776$	
62	人が困っているときには、協力することができる	.779	-.129
60	学級みんなで協力して、なにかをやり遂げたことがある	.650	-.091
61	話し合いのときにみんなの意見を一つにまとめることができる	.601	.054
65	会や集まりの時、人より進んで働く	.559	.145
63	授業で習ったことを深く理解するために、自ら考え、自分から取り組んでいたと思う	.430	.295
64	きめられた仕事は責任を持ってやりとおす	.411	.094
<課題対応能力>		$r=.613$	
66	自分で計画を立てて勉強をしている	-.033	.872
67	自分で立てた計画通りに進まないとき、計画を見直した	-.024	.727
因子間相関			.546

さらに、妥当性検討のために用いた項目についても、領域ごとに因子分析を行った。

セルフコントロール		$\alpha=.700$	I
3	だらけてしまう		.724
6	他の楽しいことに夢中になり、やるべきことがそっこのけになることがある		.673
5	よくないことと知りつつ、やめられない時がある		.528
4	誘惑に負けない		-.516

親の監督		
		I
		$\alpha=.715$
10	親は私の友人関係を知っている	.796
9	親は私が放課後や休日どこで何をしてるかを 知っている	.663
11	親は学校での出来事をよく聞いてくる	.582

地域住民との交流			I	II
<公的交流>			$\alpha=.724$	
14	地域の子どもが参加する、自然体験活動（ハイキングなど）や季節行事（もちつきなど）に参加する	.793		.003
15	公園の掃除や、花・木を植えるなど地域をきれいにする活動に参加する	.657		.039
17	地域の伝統技術（伝統芸）体験に参加する	.606		-.061
16	地域で行う廃品回収（リサイクル活動）やバザーを手伝う	.490		.028
<私的交流>			$\alpha=.729$	
19	近所に住んでいる大人と挨拶（あいさつ）したり、話をしたりする	-.089		.927
18	近所の人にほめられる	.203		.575
20	友だちの家へ行ったとき、友達の親とも話をする	-.018		.539
因子間相関				.519

規範意識				
		I	II	III
<対人間での望ましい行動>			$\alpha=.755$	
22	あなたは、自分の名前が呼ばれたら、きちんと返事をしていますか	.794	-.073	-.024
21	あなたは、はきはきとした気持ちのよいあいさつをしていますか	.748	-.111	-.010

23	あなたは、友だちが困っていたら、何かできることをしていますか	.555	.155	.034
24	あなたは、学級のみinnで話し合って決めたことについて、協力して活動していますか	.429	.271	.007
<対人間で遵守すべき行動>		$\alpha=.691$		
25	あなたは、友だちの悪口を言わないようにしていますか	-.090	.805	-.067
26	あなたは、友だちにうそをつかないようにしていますか	.002	.641	-.003
27	あなたは、友だちが謝ったら許したり、友だちの失敗や間違いに対して文句を	.062	.512	.143
<個人として遵守すべき行動>		$r=.623$		
28	あなたは、自分が使ったものを、きちんと後片付けしていますか	-.021	-.044	.956
29	あなたは、自分の身の回りの整理・整頓を、きちんとしていますか	.008	.043	.650
因子間相関		II	.548	.450
		III		.488

次に、各因子から算出された尺度得点と学力代理指標との相関係数、回帰係数を求めた。全項目で行った因子分析の結果得られた尺度得点を用いた分析結果は以下の通りであった。

$R^2=.564$	非標準化係数	標準化係数 (β)	r	VIF
主体的、対話的な学習活動	0.80	0.80	.743	2.01
対人関係能力	-0.05	-0.03	.414	1.98
地域との関わり	-0.10	-0.06	.281	1.49
セルフ・コントロール	0.18	0.08	.373	1.32
家族とのコミュニケーション	-0.04	-0.02	.284	1.43
自尊意識	-0.13	-0.04	.313	1.40
道徳の授業の有用感	-0.15	-0.04	.319	1.49

新規項目で行った因子分析の結果得られた尺度得点を用いた分析結果は以下の通りであった。

$R^2=.572$	非標準化係数	標準化係数 (β)	r	VIF
------------	--------	-----------	-----	-----

基本的生活習慣	0.31	0.04	.336	1.33
家庭でのコミュニケーション	-0.36	-0.06	.206	1.26
地域との関わり	-0.25	-0.04	.206	1.26
道徳の有用感	-0.18	-0.04	.325	1.44
主体的で深い学び	0.95	0.50	.717	2.44
対話的な学び	0.06	0.01	.406	1.62
対話的で深い学び	0.41	0.11	.568	2.18
自尊感情	0.04	0.01	.300	1.28
対人関係能力	0.53	0.17	.607	2.56
課題対応能力	0.93	0.14	.489	1.55

妥当性項目で行った因子分析の結果得られた尺度得点を用いた分析結果は、以下の通りであった。

$R^2=.179$	非標準化係数	標準化係数 (β)	r	VIF
セルフ・コントロール	0.47	0.11	.229	1.18
親の監督	0.51	0.11	.254	1.26
公的交流	0.31	0.09	.212	1.25
私的交流	-0.15	-0.04	.224	1.68
対人間で遵守すべき行動	1.27	0.29	.379	1.83
対人間での望ましい行動	-0.01	0.00	.218	1.40
個人として遵守すべき行動	0.31	0.04	.206	1.27

1.4. 独自生徒調査の調査用紙 B に関する分析

次に、独自に行われた生徒調査の調査用紙 B についても、同様の手続きによって分析を行った。まず、記述統計量を算出した結果は以下の通りである。

No	項目	平均	標準 偏差
1	国語の授業の内容がよく分かる	2.10	0.77
2	これから先, 国語が得意である, 得意になるという自信がありますか?	2.49	0.90
3	国語ができるようになりたい	1.41	0.68
4	国語の授業で自分の考えを書くとき, 考えの理由が分かるように気を付けて書いている	2.00	0.81
5	これから先, 国語の授業内容を理解できるという自信がありますか?	2.26	0.80
6	国語の勉強はおもしろい	2.35	0.96
7	これから先, 国語でよい成績をとる自信がありますか?	2.52	0.84
8	国語は自分から進んで勉強する価値がある	1.97	0.86
9	国語ができるとかっこよくみられると思う	2.46	1.05
10	国語を勉強するとき, 教科書は暗記するくらい繰り返し読む	3.18	0.82
11	国語の勉強を自分のよく知っていることや興味のあることと関係づけて勉強する	2.64	0.93
12	国語を勉強するとき, 意味の分からない言葉がでてきても, まず暗記をする	2.83	0.92
13	国語の勉強内容で面白そうな部分を探してみる	2.23	1.02
14	国語のテストで高得点をとるために勉強する	1.97	0.92
15	国語の授業で文章を読むとき, 段落や話のまとめりごとに内容を理解しながら読んでいる	2.09	0.84
16	国語の勉強をしないといい点がとれないと思って勉強する	2.06	0.95
17	国語のテストで, 解答を文章で書く問題に対してどのように解答していますか	1.19	0.41
18	数学の勉強は好きだ	2.32	1.09
19	数学の授業の内容はよく分かる	2.10	0.94
20	数学の授業で新しい問題に出会ったとき, それを解いてみたい	2.29	1.11
21	数学の問題の解き方が分からないときは, 諦めずにいろいろな方法を考える	2.08	0.96
22	これから先, 数学が得意である, 得意になるという自信がありますか?	2.47	1.02

23	数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけ〔根拠〕を理解するようにしている	2.14	0.95
24	数学の勉強はおもしろい	2.24	1.10
25	これから先、数学でよい成績をとる自信がありますか？	2.52	0.99
26	数学は自分から進んで勉強する価値がある	1.79	0.90
27	これから先、数学の授業内容を理解できるという自信がありますか？	2.29	0.97
28	数学ができるとかっこよくみられると思う	1.99	1.06
29	数学を勉強するとき、何度も同じ問題を解く	2.29	0.97
30	数学の勉強を自分のよく知っていることや興味のあることと関係づけて勉強する	2.62	0.99
31	数学を勉強するとき、分からない問題は何度も繰り返して解けるようにする	2.00	0.93
32	数学の勉強内容で面白そうな部分を探してみる	2.33	1.08
33	数学のテストで高得点をとるために勉強する	1.70	0.88
34	数学の勉強をしないといい点がとれないと思って勉強する	1.72	0.93
35	数学のテストで、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題について、どのように解答していますか	1.38	0.54
36	理科の勉強は好きだ	1.98	0.95
37	理科の授業の内容はよくわかる	2.05	0.89
38	理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えている	1.86	0.85
39	理科の授業で、観察の実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えている	2.19	0.92
40	理科のテストの問題で、解答を文章などで書く問題について、どのように解答していますか。	1.25	0.46
41	勉強をするとなりたい自分に近づける	1.82	0.89
42	この先さらに勉強していくために、今、勉強することは重要だ	1.45	0.71
43	勉強は面白い	2.90	1.00
44	勉強のことを考えると楽しい気分になる	3.34	0.86
45	勉強をすることは、将来、仕事の役に立つと思う	1.56	0.82
46	勉強には興味がわく	2.88	0.96
47	勉強ができると、人よりも優れていると感じる	2.17	1.10
48	勉強ができないのはかっこわるいと思う	2.41	1.11
49	勉強のことを考えると、わくわくすることがある	3.17	0.95

50	勉強をすると自分がもっと成長できると思う	1.87	0.94
51	勉強することは将来のためになる	1.53	0.81
52	勉強ができて、自慢にならないと思う	2.54	1.07
53	勉強ができるとかっこいいと思う	2.08	1.08
54	勉強の内容は生活に活かせると思う	1.94	0.93
55	勉強することは、自分にとって重要だ	1.59	0.82
56	勉強は、自分で進んでする価値がある	1.76	0.86
57	授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思う	1.69	0.80
58	これから学校で学ぶ内容は楽しそうだ	2.60	0.94
59	これから学校で学ぶ内容は面白そうだ	2.58	0.95
60	これから学校で学ぶ内容は興味をもてそうだ	2.60	0.93
61	学校の先生は、わたしたちが勉強することを一番に考えてくれそうだ	2.04	0.84
62	学校の先生は、わたしたちの立場にたって教えてくれそうだ	2.06	0.86
63	学校の先生は、わたしたちがわかるようになることを応援してくれそう うだ	1.90	0.85
64	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含みます）をしますか	3.67	1.51
65	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれ くらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教 師の先生に教わっている時間も含まます）	2.73	1.21
66	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、 勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教 師の先生に教わ っている時間も含まます）	2.26	1.43
67	学校の宿題をしている	1.45	0.74
68	地域や社会で起こっている問題について知りたい	2.19	1.01
69	ニュースを見たり聞いたりして、不思議に思うことがある	1.70	0.88
70	見たり聞いたりしたニュースについて、親や先生に質問することがあ る	2.31	1.12
71	少々反対されても、自分が正しいと思う考えを主張できる	2.11	0.94
72	少し難しそうなことにチャレンジしたことがある	2.04	0.96
73	何にでも積極的に参加する	2.48	0.91
74	何かするとき、“ほかに方法はないかな”と考えるのが好きだ	2.27	0.97
75	失敗しても、めげずにがんばったことがある	1.90	0.89

76	自分の周りの出来事や世の中にとっても興味がある	2.02	0.96
77	将来の自分を想像するとわくわくする	2.14	1.06
78	将来、何をしたいか具体的に考えている	2.13	1.12
79	なりたい自分を目指して、努力している	2.04	0.99
80	今自分で決めたことが将来の自分につながると考えること	2.02	0.86
81	自分自身で物事を決めていくこと	2.03	0.82
82	将来に向けて気持ちの準備をすること	2.12	0.88
83	前向きでいること	2.04	0.97
84	自分がなりたい職業に興味を持つこと	1.71	0.89
85	物事を自分の力で進めていくこと	2.06	0.81
86	自分の将来がどうなるかを考えること	1.90	0.87
87	自分がこの先どうなりたいかを自分で選ぶこと	1.73	0.81

次に、学力代理指標との相関分析および回帰分析を行った。

$R^2=.777$		非標準化 係数	標準化 係数 (β)	r	VIF
2	これから先、国語が得意である、得意になるとい う自信がありますか？	0.02	0.00	.298	2.48
3	国語ができるようになりたい	1.01	0.06	.361	1.45
5	これから先、国語の授業内容を理解できるという 自信がありますか？	1.72	0.13	.431	2.35
6	国語の勉強はおもしろい	0.16	0.01	.327	2.26
7	これから先、国語でよい成績をとる自信がありま すか？	-0.17	-0.01	.403	2.55
8	国語は自分から進んで勉強する価値がある	-0.25	-0.02	.361	2.00
9	国語ができるとかっこよくみられると思う	-0.09	-0.01	.286	2.02
10	国語を勉強するとき、教科書は暗記するくらい繰 り返し読む	0.11	0.01	.282	1.53
11	国語の勉強を自分のよく知っていることや興味 あることと関係づけて勉強する	0.14	0.01	.380	1.95
12	国語を勉強するとき、意味の分からない言葉がで てきても、まず暗記をする	-0.50	-0.04	.136	1.24
13	国語の勉強内容で面白そうな部分を探してみる	0.20	0.02	.361	1.71

14	国語のテストで高得点をとるために勉強する	1.46	0.12	.520	2.08
16	国語の勉強をしないといい点がとれないと思って勉強する	0.05	0.00	.361	1.79
22	これから先、数学が得意である、得意になるという自信がありますか？	0.36	0.03	.615	4.83
24	数学の勉強はおもしろい	1.94	0.20	.659	3.60
25	これから先、数学でよい成績をとる自信がありますか？	0.60	0.06	.629	4.60
26	数学は自分から進んで勉強する価値がある	0.25	0.02	.555	2.01
27	これから先、数学の授業内容を理解できるという自信がありますか？	0.83	0.08	.638	3.31
28	数学ができるとかっこよくみられると思う	0.21	0.02	.383	2.26
29	数学を勉強するとき、何度も同じ問題を解く	-0.12	-0.01	.429	1.82
30	数学の勉強を自分のよく知っていることや興味のあることと関係づけて勉強する	0.25	0.02	.535	2.24
31	数学を勉強するとき、分からない問題は何度も繰り返し解けるようにする	1.62	0.14	.632	2.31
32	数学の勉強内容で面白そうな部分を探してみる	0.30	0.03	.568	2.32
33	数学のテストで高得点をとるために勉強する	1.48	0.12	.588	2.58
34	数学の勉強をしないといい点がとれないと思って勉強する	-0.33	-0.03	.358	1.97
41	勉強をすべるとなりたい自分に近づける	0.37	0.03	.476	2.13
42	この先さらに勉強していくために、今、勉強することは重要だ	0.52	0.03	.450	2.23
43	勉強は面白い	0.28	0.03	.527	3.30
44	勉強のことを考えると楽しい気分になる	-0.18	-0.01	.401	2.94
45	勉強をすることは、将来、仕事の役に立つと思う	-0.20	-0.02	.338	2.54
46	勉強には興味がわく	0.39	0.04	.527	3.18
47	勉強ができると、人よりも優れていると感じる	0.10	0.01	.290	1.77
48	勉強ができないのはかっこわるいと思う	-0.32	-0.03	.168	1.59
49	勉強のことを考えると、わくわくすることがある	-0.24	-0.02	.444	2.69
50	勉強をすべると自分をもっと成長できると思う	-0.07	-0.01	.439	2.35
51	勉強することは将来のためになる	0.51	0.04	.381	2.96
52	勉強ができて、自慢にならないと思う	0.02	0.00	-.044	1.34

53	勉強ができるとかっこいいと思う	-0.13	-0.01	.244	2.52
54	勉強の内容は生活に活かせると思う	-0.20	-0.02	.370	1.79
55	勉強することは、自分にとって重要だ	-0.19	-0.02	.416	2.83
56	勉強は、自分で進んでする価値がある	0.56	0.04	.457	2.71
58	これから学校で学ぶ内容は楽しそう	0.51	0.04	.558	7.03
59	これから学校で学ぶ内容は面白そう	-0.33	-0.03	.568	8.22
60	これから学校で学ぶ内容は興味をもてそう	0.92	0.08	.594	4.64
61	学校の先生は、わたしたちが勉強することを一番に考えてくれそう	0.19	0.02	.324	2.86
62	学校の先生は、わたしたちの立場にたって教えてくれそう	0.18	0.01	.347	3.61
63	学校の先生は、わたしたちがわかるようになることを応援してくれそう	0.29	0.02	.359	3.12
68	地域や社会で起こっている問題について知りたい	0.19	0.02	.311	1.83
69	ニュースを見たり聞いたりして、不思議に思うことがある	0.48	0.04	.304	1.79
70	見たり聞いたりしたニュースについて、親や先生に質問することがある	0.20	0.02	.276	1.50
71	少々反対されても、自分が正しいと思う考えを主張できる	0.25	0.02	.294	1.66
72	少し難しそうなのにチャレンジしたことがある	0.47	0.04	.463	1.94
73	何にでも積極的に参加する	0.30	0.03	.416	1.71
74	何かするとき、“ほかに方法はないかな”と考えるのが好き	0.23	0.02	.459	1.77
75	失敗しても、めげずにがんばったことがある	0.14	0.01	.392	1.74
76	自分の周りの出来事や世の中にとっても興味がある	-0.23	-0.02	.359	2.04
77	将来の自分を想像するとわくわくする	-0.44	-0.04	.287	1.96
78	将来、何をしたいか具体的に考えている	-0.34	-0.04	.186	2.33
79	なりたい自分を目指して、努力している	0.38	0.04	.366	2.30
80	今自分で決めたことが将来の自分につながると思うこと	0.18	0.02	.397	2.32
81	自分自身で物事を決めていくこと	0.53	0.04	.379	2.28
82	将来に向けて気持ちの準備をすること	-0.35	-0.03	.343	2.49
83	前向きでいること	-0.49	-0.04	.276	1.65

84	自分になりたい職業に興味を持つこと	0.09	0.01	.232	2.15
85	物事を自分の力で進めていくこと	0.55	0.04	.421	2.28
86	自分の将来がどうなるかを考えること	0.08	0.01	.304	2.37
87	自分がこの先どうなりたいかを自分で選ぶこと	0.33	0.02	.286	2.21

次に、全ての項目を対象として因子分析を行った。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
I <キャリア形成の資質・能力—関心>	α=.900											
78	.860	.018	-.042	.023	-.006	.051	-.052	.010	-.033	-.016	-.017	-.186
84	.815	.046	.048	.082	-.015	-.088	-.083	-.025	-.049	-.004	.005	-.109
86	.753	.027	.018	.016	-.027	-.046	-.057	.006	-.006	.071	-.026	.057
87	.723	-.019	.029	-.016	-.023	-.062	-.019	-.020	-.030	.004	-.001	.138
79	.631	-.046	-.050	.001	.003	.086	.182	-.017	.005	.001	-.017	.038
77	.630	.019	-.083	.112	.020	.065	.040	.092	.021	-.115	.075	-.041
80	.617	-.011	.093	-.012	.024	.053	.058	-.012	.019	-.015	-.010	.105
82	.607	-.038	.018	-.088	.030	-.016	.032	-.049	.056	.071	-.025	.252
II <数学に対する有能感, 有能感>	α=.907											
22	.041	1.020	-.011	-.038	.068	.002	-.080	.013	-.001	-.089	-.043	-.035
25	-.009	.945	-.009	-.049	.099	.000	-.021	.018	-.025	-.107	-.019	.053
27	-.016	.844	-.037	-.050	.084	.001	.042	.022	.049	-.117	-.016	.080
24	-.014	.829	.005	.034	-.053	.037	.039	-.025	-.021	-.028	.118	-.129
32	-.002	.517	.000	.097	-.104	-.004	-.014	-.035	.006	.302	.042	-.025
26	-.029	.478	.252	.009	-.025	-.085	.148	.003	.040	.095	-.014	-.079
III <学習に対する有用感—将来, 自己>	α=.903											
51	.032	.026	.981	-.024	-.019	-.056	-.113	-.034	-.034	-.076	-.027	.013
45	.024	.019	.915	-.085	-.043	.024	-.174	-.015	-.003	.033	-.042	-.038
55	-.045	-.046	.828	.017	-.029	-.019	.062	-.009	-.003	-.063	.031	.011
56	-.032	-.064	.690	.020	-.013	.065	.075	.002	.043	-.059	.057	.030
42	.023	.002	.626	.054	.019	-.046	.203	-.007	.007	-.046	-.057	-.003
54	-.021	.050	.614	-.024	-.031	-.002	-.137	.048	.006	.093	.097	.010
50	.034	-.016	.599	.033	-.012	.142	.087	.119	-.001	-.070	-.042	.000
41	.100	.051	.493	-.013	.067	.064	.140	.069	.026	-.041	-.027	-.043
3	-.031	-.006	.203	.087	.191	-.149	.183	.036	-.019	.121	.039	-.058
IV <社会に対する興味>	α=.785											
69	.030	-.048	.006	.725	-.025	-.071	.069	-.037	-.006	-.046	-.004	.068
68	.037	-.042	.021	.654	-.002	.041	.027	-.052	.034	-.038	.065	-.050
76	.055	-.035	.003	.649	-.009	.016	.046	-.008	.006	-.025	-.024	.162
70	-.053	-.017	-.075	.600	-.002	.061	.017	.037	.039	-.049	-.056	.108

74	-.010	.181	-.024	.392	-.069	.061	-.075	.003	-.015	.111	-.017	.288
V	<国語に対する有能感, 有用感>								$\alpha=.851$			
2	.049	-.044	-.029	-.004	.793	.043	-.043	-.022	-.008	.067	-.041	.010
7	-.027	.129	-.071	-.061	.782	.059	.044	.043	-.036	.008	-.039	.076
5	.008	.109	-.023	-.040	.779	-.004	-.027	-.005	.032	-.031	.003	.084
6	-.014	-.110	.016	.095	.561	.009	-.007	-.079	.005	.238	.137	-.140
VI	<学習に対する有用感—興味>								$\alpha=.903$			
44	-.001	-.020	-.068	-.058	.004	.937	-.017	-.001	.029	.041	-.059	-.018
43	.011	.005	.064	.016	.050	.792	.035	-.039	-.009	-.003	.015	-.020
49	-.010	.057	.014	.045	.011	.779	-.045	-.001	-.020	-.033	.038	-.017
46	-.035	.017	.097	.078	.030	.761	-.015	-.038	-.004	-.012	.019	.023
VII	<動機づけの調整—外発的, 暗記・繰り返し方略>								$\alpha=.818$			
34	.034	-.097	-.062	.103	-.004	-.020	.852	-.003	-.022	-.076	-.011	-.104
33	.016	.232	-.074	.042	.020	-.030	.840	-.020	-.034	-.143	.008	-.068
14	-.058	-.040	.086	-.042	.150	-.030	.512	-.013	-.048	.127	.002	.083
16	-.069	-.066	.083	-.034	-.040	.021	.490	.033	-.029	.133	-.010	.026
31	.010	.216	.019	-.063	-.091	.033	.470	-.070	.031	.201	-.007	.072
29	.022	-.010	-.082	-.059	-.149	.044	.451	-.033	.063	.357	.002	.048
VIII	<学習に対する有用感—他者比較>								$\alpha=.794$			
53	.033	-.085	.011	.025	-.045	.007	-.023	.863	.031	-.007	.035	.011
28	.069	.140	-.071	.051	-.019	-.039	.080	.615	.013	.169	-.045	-.070
48	-.005	-.051	.089	-.101	-.072	.065	-.029	.581	-.056	.065	.057	.012
47	-.064	.035	.152	-.043	-.012	.070	.030	.568	-.056	-.056	-.017	.096
52	.048	-.024	.030	-.016	-.046	.140	.042	-.555	-.032	.179	-.007	-.068
9	-.016	-.015	-.058	.039	.156	.001	-.028	.450	.046	.339	-.047	-.079
IX	<学校への期待—教師>								$\alpha=.903$			
62	-.017	.007	-.028	-.011	-.009	.055	-.032	-.021	.972	-.019	-.033	-.013
63	-.003	.015	.019	.055	-.004	-.064	-.026	.005	.847	-.032	.026	.019
61	.008	-.009	.025	-.003	.008	.007	-.016	.020	.844	-.007	.001	-.065
X	<自己調整学習>								$\alpha=.722$			
11	.018	-.003	.024	.114	.118	.019	-.113	-.065	-.023	.714	-.082	-.024
30	.012	.401	-.030	-.034	-.174	.059	-.033	-.044	-.018	.552	-.005	.059
10	-.009	-.060	-.084	-.135	.087	.106	.063	-.013	-.036	.541	.046	-.007

13	.002	.026	.016	.196	.123	-.075	-.044	-.040	.011	.481	-.010	-.014
12	.024	-.092	-.087	-.136	.014	-.069	.140	.075	-.014	.407	.025	.057
8	-.031	-.085	.269	.013	.276	-.085	.029	-.038	.027	.351	.013	-.017
XI	<学校への期待—学習内容>									$\alpha=.952$		
59	-.005	.006	-.004	-.003	-.012	-.019	.002	.014	-.016	-.007	.988	.022
58	.017	.017	.004	-.048	.002	.006	-.004	.012	-.009	-.013	.948	.009
60	.000	.056	-.004	.033	.022	.072	-.018	.008	.032	.022	.760	.020
XII	<キャリア形成の資質・能力—コントロール感>									$\alpha=.814$		
71	-.004	-.016	-.065	.339	.013	-.003	-.120	.073	-.104	-.005	-.032	.548
81	.370	-.057	.015	-.082	.012	-.011	.006	-.019	.009	.049	-.011	.523
85	.360	.005	.002	-.078	.026	.005	-.044	-.004	-.018	.026	.051	.520
72	-.034	.171	.057	.355	.000	-.050	-.089	.000	-.033	-.033	-.003	.490
75	.011	-.085	.073	.232	.004	-.021	.142	.020	.033	-.061	-.001	.448
73	.030	-.055	-.088	.163	.035	.080	.068	.045	.029	.062	.078	.405
83	.331	.026	.026	-.113	.048	-.063	-.053	-.011	.083	-.001	.056	.369
1	.242	.399	.380	.311	.338	.393	.218	.341	.354	.360	.487	
2		.359	.266	.160	.500	.482	.219	.266	.467	.487	.450	
3			.462	.368	.482	.591	.527	.480	.464	.503	.327	
4				.390	.401	.347	.348	.292	.547	.437	.336	
5					.378	.318	.301	.278	.510	.381	.311	
6						.368	.362	.282	.547	.651	.372	
7							.396	.393	.490	.388	.401	
8								.258	.354	.298	.114	
9									.341	.472	.278	
10										.572	.355	
11											.377	

続いて、新規項目について領域ごとに因子分析、相関分析を行った。

国語に対する有用感

		$\alpha=.701$	8	9
6	国語の勉強は面白い		.514	.373
8	国語は自分から進んで勉強する価値がある			.454

数学に対する有用感		$\alpha=.669$	26	28
24	数学の勉強はおもしろい	.571		.298
26	数学は自分から進んで勉強する価値がある			.369
国語に対する有能感		$\alpha=.848$	5	7
2	これから先、国語が得意である、得意になるとい う自信がありますか？	.640		.666
5	これから先、国語の授業内容を理解できるという 自信がありますか？			.651
数学に対する有能感		$\alpha=.670$	25	27
22	これから先、数学が得意である、得意になるとい う自信がありますか？	.843		.774
25	これから先、数学でよい成績をとる自信がありますか？			.772
			I	II
<学習動機づけの調整—外的>		$\alpha=.779$		
34	数学の勉強をしないといい点がとれないと思って 勉強する	.790		-.124
33	数学のテストで高得点をとるために勉強する	.785		.027
14	国語のテストで高得点をとるために勉強する	.570		.121
16	国語の勉強をしないといい点がとれないと思って 勉強する	.550		.036
<学習動機づけの調整方略—内的>		$\alpha=.749$		
30	数学の勉強を自分のよく知っていることや興味 あることと関係づけて勉強する	-.004		.742
32	数学の勉強内容で面白そうな部分を探してみる	.036		.734
11	国語の勉強を自分のよく知っていることや興味 あることと関係づけて勉強する	-.026		.585
13	国語の勉強内容で面白そうな部分を探してみる	.003		.537
			因子間相関	.475

学習方略—暗記，繰り返し学習		$\alpha=.641$	12	29	31
10	国語を勉強するとき，教科書は暗記するくらい繰り返し読む	.339		.284	.244
12	国語を勉強するとき，意味の分からない言葉がでてきても，まず暗記をする			.220	.151
29	数学を勉強するとき，何度も同じ問題を解く				.602

社会への興味		$\alpha=.709$	69	70
68	地域や社会で起こっている問題について知りたい	.517		.391
69	ニュースを見たり聞いたりして，不思議に思うことがある			.471

将来への意識		$\alpha=.786$	78	79
77	将来の自分を想像するとわくわくする	.521		.533
78	将来，何をしたいか具体的に考えている			.607

次に、妥当性検討のための項目について、因子分析および相関分析を行った。

		I	II	III
<勉強に対する有用感—将来，自己>		$\alpha=.905$		
51	勉強することは将来のためになる	.899	-.116	-.059
55	勉強することは，自分にとって重要だ	.846	-.059	-.016
45	勉強をすることは，将来，仕事の役に立つと思う	.800	-.030	-.065
42	この先さらに勉強していくために，今，勉強することは重要だ	.746	-.051	-.008
56	勉強は，自分で進んでする価値がある	.730	.064	.003
50	勉強をすると自分をもっと成長できると思う	.616	.110	.130
41	勉強をすべるとなりたい自分に近づける	.611	.091	.056
54	勉強の内容は生活に活かせると思う	.576	.093	.015
<勉強に対する有用感—興味>		$\alpha=.903$		

44	勉強のことを考えると楽しい気分になる	-.127	.905	.005
43	勉強は面白い	.071	.838	-.046
49	勉強のことを考えると、わくわくすることがある	-.029	.826	-.002
46	勉強には興味がわく	.091	.818	-.051
<勉強に対する有用感—他者比較>		$\alpha=.739$		
53	勉強ができるとかっこいいと思う	.038	.013	.790
48	勉強ができないのはかっこわるいと思う	-.019	.056	.635
47	勉強ができると、人よりも優れていると感じる	.089	.061	.592
52	勉強ができて、自慢にならないと思う	.081	.173	-.587
因子間相関		II	.509	.544
		III		.366

		I	II
<学校への期待—学習内容>		$\alpha=.952$	
59	これから学校で学ぶ内容は面白そうだ	.980	-.014
58	これから学校で学ぶ内容は楽しそうだ	.944	-.008
60	これから学校で学ぶ内容は興味がもてそうだ	.867	.038
<学校への期待—教師>		$\alpha=.903$	
62	学校の先生は、わたしたちの立場にたって教えてくれそうだ	-.018	.928
63	学校の先生は、わたしたちがわかるようになることを応援してくれそうだ	.021	.841
61	学校の先生は、わたしたちが勉強することを一番に考えてくれそうだ	.013	.833
因子間相関			.460

積極性

		$\alpha=.805$	72	73	74	75	76
71	少々反対されても、自分が正しいと思う考えを主張できる		.498	.344	.400	.333	.314
72	少し難しそうなことにチャレンジしたことがある			.425	.480	.490	.394
73	何にでも積極的に参加する				.402	.459	.377
74	何かするとき、“ほかに方法は					.385	.428

	ないかな” と考えるのが好きだ			
75	失敗しても、めげずにがんばったことがある			.393

キャリア意識—関与

		$\alpha=.834$	82	84	86
80	今自分で決めたことが将来の自分につながると考えること	.613		.500	.578
82	将来に向けて気持ちの準備をすること			.487	.587
84	自分になりたい職業に興味を持つこと				.578

キャリア意識—コントロール

		$\alpha=.798$	83	85	87
81	自分自身で物事を決めていくこと	.458		.638	.496
83	前向きでいること			.463	.418
85	物事を自分の力で進めていくこと				.512

さらに、これらの因子分析の結果に基づいて算出された尺度得点を説明変数、学力代理指標を目的変数とした重回帰分析を行った。項目全体で因子分析を行った結果から求められた尺度得点を用いた分析は以下の通りである。

$R^2=.739$	非標準化係数	標準化係数 (B)	r	VIF
キャリア形成の資質・能力—関心	-0.05	-0.03	.386	1.73
数学に対する有能感, 有能感	0.94	0.44	.739	1.76
学習に対する有用感—将来, 自己	0.16	0.08	.535	2.01
社会に対する興味	0.21	0.07	.464	1.66
国語に対する有能感, 有用感	0.51	0.14	.436	1.59
学習に対する有用感—興味	0.07	0.02	.542	2.02
動機づけの調整—外発的, 暗記・繰り返し方略	0.71	0.27	.664	1.79
学習に対する有用感—他者比較	-0.07	-0.03	.334	1.42
学校への期待—教師	0.18	0.04	.375	1.37
自己調整学習	-0.10	-0.03	.534	2.00

学校への期待—学習内容	0.39	0.10	.600	2.25
キャリア形成の資質・能力—コントロール感	0.28	0.11	.547	2.18

新規項目から算出された尺度得点を用いた重回帰分析の結果は以下の通りである。

$R^2=.703$	非標準化係数	標準化係数 (β)	r	VIF
国語に対する有用感	-0.17	-0.04	.407	1.87
数学に対する有用感	0.91	0.20	.689	2.55
国語に対する有能感	0.74	0.15	.427	1.62
数学に対する有能感	1.69	0.34	.728	2.37
学習動機づけの調整—外的	0.77	0.20	.592	1.61
学習動機づけの調整方略—内的	0.43	0.12	.610	2.02
学習方略—暗記, 繰り返し学習	0.24	0.06	.539	1.75
社会への興味	0.42	0.09	.373	1.29
将来への意識	0.10	0.02	.334	1.22

妥当性検討のための項目から算出された尺度得点を用いた重回帰分析の結果は以下の通りである。

$R^2=.515$	非標準化係数	標準化係数 (β)	r	VIF
勉強に対する有用感—将来, 自己	0.41	0.20	.531	1.87
勉強に対する有用感—興味	0.49	0.15	.542	1.87
勉強に対する有用感—他者比較	-0.08	-0.03	.247	1.29
学校への期待—学習内容	0.97	0.24	.598	2.06
学校への期待—教師	0.31	0.07	.374	1.36
積極性	0.65	0.24	.555	1.69
キャリア意識—関与	-0.10	-0.03	.389	2.42
キャリア意識—コントロール	0.40	0.10	.430	2.57

2. 独自の学校調査に関する分析

2.1. 小学校の独自学校調査に関する分析

2.1.1. 記述統計

まず、記述統計量を算出し、その後因子分析を行った。使用したデータは、Z市46校とZ市以外166校の合計212校分のデータである。

No	項目	平均	標準 偏差
010-1	全国学力・学習状況調査について、学校の教職員が独自に採点を行った。	2.65	1.33
010-2	全国学力・学習状況調査について、自校の結果を独自に分析した。	1.49	0.61
010-3	全国学力・学習状況調査の結果の共有について、調査対象の学年で確認・共有した。	1.33	0.54
010-4	全国学力・学習状況調査の結果の共有について、学校全体で確認・共有した。	1.46	0.55
010-5	全国学力・学習状況調査の結果の共有について、保護者会や地域の集会等で説明した。	2.37	0.91
010-6	全国学力・学習状況調査の結果の共有について、学区内の中学校と共有した。	2.61	1.01
010-7	全国学力・学習状況調査の結果の共有について、ホームページや学校だより等に掲載した。	2.36	1.11
010-8	全国学力・学習状況調査の結果の活用に当たり、全国平均や都道府県平均等と比較することを重視した。	1.91	0.73
010-9	全国学力・学習状況調査の結果の活用に当たり、めざすべき学力の特徴を理解することを重視した。	1.52	0.57
010-10	全国学力・学習状況調査の結果の活用に当たり、具体的な学習指導の改善に生かすことを重視した。	1.46	0.53
010-11	全国学力・学習状況調査の結果の活用に当たり、児童一人ひとりの学習改善に生かすことを重視した。	1.60	0.60
010-12	全国学力・学習状況調査の結果の活用に当たり、指導計画の改善に生かすことを重視した。	1.73	0.56
010-13	全国学力・学習状況調査の結果の活用に当たり、保護者や地域への説明責任を果たすことを重視した。	2.16	0.73
010-14	全国学力・学習状況調査の結果の活用に当たり、学力向上の取組について、具体的な協力を保護者や地域の方々から得ることを重視し	2.30	0.75

	た。		
011-1	校外の民間企業等による模擬試験を、校内で具体的な教育指導の改善や指導計画等に反映させている。	0.14	0.35
011-2	知能検査を、校内で具体的な教育指導の改善や指導計画等に反映させている。	0.34	0.47
011-3	性格検査を、校内で具体的な教育指導の改善や指導計画等に反映させている。	0.01	0.10
011-4	職業に関する適性検査を、校内で具体的な教育指導の改善や指導計画等に反映させている。	0.00	0.00
011-5	学級内の人間関係に関する調査を、校内で具体的な教育指導の改善や指導計画等に反映させている。	0.44	0.50
011-6	その他（具体的に記入）を、校内で具体的な教育指導の改善や指導計画等に反映させている。	0.14	0.35
012-1	学校のビジョン（学校がめざす児童の姿や重点的に取り組む教育活動など）を、管理職、主幹教諭、各主任と共有している。	1.11	0.31
012-2	学校のビジョン（学校がめざす児童の姿や重点的に取り組む教育活動など）を、常勤の、授業を行う教員（教諭、常勤講師）と共有している。	1.26	0.45
012-3	学校のビジョン（学校がめざす児童の姿や重点的に取り組む教育活動など）を、授業が主たる業務ではない常勤の職員（事務職員、学校栄養職員など）と共有している	1.60	0.61
012-4	学校のビジョン（学校がめざす児童の姿や重点的に取り組む教育活動など）を、非常勤講師、授業に関わる非常勤教職員（ALT、特別支援教育支援員など）と共有している。	1.92	0.63
012-5	学校のビジョン（学校がめざす児童の姿や重点的に取り組む教育活動など）を、授業に関わらない非常勤職員（スクールカウンセラー、非常勤の事務職員など）と共有している。	2.35	0.70
012-6	学校のビジョン（学校がめざす児童の姿や重点的に取り組む教育活動など）を、保護者と共有している。	1.69	0.51
012-7	学校のビジョン（学校がめざす児童の姿や重点的に取り組む教育活動など）を、ボランティア等に関わる学校外の関係者と共有している。	2.29	0.75
012-8	学校のビジョン（学校がめざす児童の姿や重点的に取り組む教育活動など）を、地域（主に校区）の住民と共有している。	2.20	0.63
012-9	学校のビジョン（学校がめざす児童の姿や重点的に取り組む教育活	1.50	0.55

	動など) を, 児童と共有している。		
013-1	各種の指導計画を作成する際, 教科横断的な視点を重視する。	1.89	0.52
013-2	各種の指導計画を作成する際, 言語活動を重視する。	1.39	0.51
013-3	各種の指導計画を作成する際, 知識・技能の活用を重視する。	1.50	0.54
013-4	各種の指導計画を作成する際, 学校の教育目標に応じた教育内容の組織を重視する。	1.47	0.55
013-5	各種の指導計画を作成する際, 「PDCA サイクル」の遂行を重視する。	1.57	0.56
013-6	各種の指導計画を作成する際, 指導事項の系統性を重視する。	1.51	0.50
013-7	各種の指導計画を作成する際, 地域の現状等に関する調査結果や資料を重視する。	1.96	0.61
013-8	各種の指導計画を作成する際, 児童の実態に関する調査結果や資料を重視する。	1.43	0.52
013-9	各種の指導計画を作成する際, 前年度のカリキュラム評価の結果を重視する。	1.64	0.57
013-10	各種の指導計画を作成する際, 人的・物的資源の導入を重視する。	1.64	0.56
013-11	各種の指導計画を作成する際, 校外からの人的・物的資源の導入を重視する。	1.84	0.60
013-12	各種の指導計画を作成する際, 財政面の負担を重視する。	2.04	0.71
013-13	各種の指導計画を作成する際, 特別な支援を要する児童の個別の指導計画を重視する。	1.40	0.53
013-14	各種の指導計画を作成する際, 学校の研究テーマを重視する。	1.34	0.49
013-15	各種の指導計画を作成する際, 多くの教職員が参加して指導計画を作成することを重視する。	1.66	0.62
013-16	各種の指導計画を作成する際, 評価計画を立てることを重視する。	1.73	0.53
014	特別支援教育に関連して, 児童の特性に応じた指導(板書や説明の仕方, 教材の工夫など)を, 授業で配慮するよう, 学校の取組として推進していますか。	1.60	0.52
015-1	この学校の教職員は, 校外の研修や研究会に参加する。	1.62	0.55
015-2	この学校の教職員は, 学習指導と学習評価の計画を, 協力して作成する。	1.81	0.60
015-3	この学校の教職員は, 言語活動の充実のために, 話し合って検討する。	1.68	0.58
015-4	この学校の教職員は, 国語科に限定せず, 言語活動に取り組む。	1.65	0.58

015-5	この学校の教職員は、学校特有の学力傾向や課題を共有する。	1.56	0.59
015-6	この学校の教職員は、学年・学級運営の状況や課題を共有する。	1.50	0.55
016-1	この学校の教職員の様子は、同僚の考え方を相互に尊重する。	1.40	0.51
016-2	この学校の教職員の様子は、地域と連携を図っている。	1.63	0.58
016-3	この学校の教職員の様子は、各自の成功を共有する雰囲気がある。	1.56	0.59
016-4	この学校の教職員の様子は、勤務外で私的に交流する。	2.45	0.65
016-5	この学校の教職員の様子は、学校教育に関する信念を共有している。	1.80	0.58
016-6	この学校の教職員の様子は、お互い助け合い、協力的である。	1.27	0.48
016-7	この学校の教職員の様子は、会議で発言をしやすい。	1.52	0.54
016-8	この学校の教職員の様子は、困難な問題をオープンに話し合う。	1.52	0.60
016-9	この学校の教職員の様子は、経験の浅い教職員に寛容である。	1.45	0.53
016-10	この学校の教職員の様子は、日常的に保護者と意見交換する。	1.70	0.56
016-11	この学校の教職員の様子は、児童の幸福を重視する。	1.37	0.50
016-12	この学校の教職員の様子は、児童との関係が良好である。	1.39	0.49
016-13	この学校の教職員の様子は、児童の発言や意見に関心をもつ。	1.39	0.50
016-14	この学校の教職員の様子は、児童の卒業後も交流がある。	2.09	0.58
016-15	この学校の教職員の様子は、新しい指導に積極的にチャレンジする。	1.93	0.64
016-16	この学校の教職員の様子は、教職員が一丸となった取り組みをする。	1.46	0.57
016-17	この学校の教職員の様子は、立場に応じてリーダーシップを発揮する。	1.59	0.61
016-18	この学校の教職員の様子は、互いの実践上の知識や技能を提供し合う。	1.73	0.58
016-19	この学校の教職員の様子は、各教科等の教育目標や内容の相互関連を意識して授業する。	1.97	0.57
016-20	この学校の教職員の様子は、指導の改善に役立つ記録（メモ）を残す。	1.96	0.61
019-1	過去 12 か月の間（平成 27 年 12 月から平成 28 年 11 月）に経験した研修は、他校の見学・視察（他校の授業研究への参加を含む）。	0.93	0.25
019-2	過去 12 か月の間（平成 27 年 12 月から平成 28 年 11 月）に経験した研修は、企業、公的機関、非政府組織（NGO）の見学・視察。	0.12	0.33
019-3	過去 12 か月の間（平成 27 年 12 月から平成 28 年 11 月）に経験した研修は、教育に関する会議やセミナー（例：教員や研究者が研究成果を発表し、教育上の課題に関して議論する）。	0.71	0.46

019-4	過去 12 か月の間（平成 27 年 12 月から平成 28 年 11 月）に経験した研修は、資格取得プログラム（例：修士号などの学位取得）。	0.01	0.12
019-5	過去 12 か月の間（平成 27 年 12 月から平成 28 年 11 月）に経験した研修は、認定証や修了証が発行される、課程（コース）やワークショップ（例：教科等の内容や指導法，その他教育関連）。	0.15	0.36
019-6	過去 12 か月の間（平成 27 年 12 月から平成 28 年 11 月）に経験した研修は、教員の力量形成（職業能力開発）を目的とする研究団体への参加。	0.26	0.44
019-7	過去 12 か月の間（平成 27 年 12 月から平成 28 年 11 月）に経験した研修は、職務上、関心を持っているテーマに関する個人研究。	0.25	0.44
019-8	過去 12 か月の間（平成 27 年 12 月から平成 28 年 11 月）に経験した研修は、学校の公的な組織内指導（メンタリング），相談。	0.32	0.47
019-9	過去 12 か月の間（平成 27 年 12 月から平成 28 年 11 月）に経験した研修は、同僚の観察・助言，コーチング活動。	0.70	0.46
019-10	過去 12 か月の間（平成 27 年 12 月から平成 28 年 11 月）に経験した研修は、その他（具体的に記入）。	0.03	0.17
020-1	過去 12 か月の間（平成 27 年 12 月から平成 28 年 11 月）に経験した研修した内容は、担当教科等に関する知識と理解。	1.54	0.58
020-2	過去 12 か月の間（平成 27 年 12 月から平成 28 年 11 月）に経験した研修した内容は、担当教科等の指導法に関する能力	1.46	0.51
020-3	過去 12 か月の間（平成 27 年 12 月から平成 28 年 11 月）に経験した研修した内容は、教育課程（カリキュラム）に関する知識。	1.63	0.56
020-4	過去 12 か月の間（平成 27 年 12 月から平成 28 年 11 月）に経験した研修した内容は、児童の評価や評価方法。	1.77	0.59
020-5	過去 12 か月の間（平成 27 年 12 月から平成 28 年 11 月）に経験した研修した内容は、学習指導用の ICT 技能	1.79	0.65
020-6	過去 12 か月の間（平成 27 年 12 月から平成 28 年 11 月）に経験した研修した内容は、学習指導以外の職務用の ICT（例：成績入力システム，セキュリティ関連）。	1.71	0.79
020-7	過去 12 か月の間（平成 27 年 12 月から平成 28 年 11 月）に経験した研修した内容は、児童の活動と学級経営。	1.74	0.70
020-8	過去 12 か月の間（平成 27 年 12 月から平成 28 年 11 月）に経験した研修した内容は、学校の管理運営，法規，制度に関する知識。	1.59	0.61
020-9	過去 12 か月の間（平成 27 年 12 月から平成 28 年 11 月）に経験した研修した内容は、個に応じた学習指導の手法。	1.52	0.52

020-10	過去 12 か月の間（平成 27 年 12 月から平成 28 年 11 月）に経験した研修した内容は、特別な支援を要する児童への指導。	1.58	0.59
020-11	過去 12 か月の間（平成 27 年 12 月から平成 28 年 11 月）に経験した研修した内容は、児童の健康や安全に関する指導。	1.92	0.71
020-12	過去 12 か月の間（平成 27 年 12 月から平成 28 年 11 月）に経験した研修した内容は、多文化、多言語環境における指導（日本語指導を含む）。	2.31	0.82
020-13	過去 12 か月の間（平成 27 年 12 月から平成 28 年 11 月）に経験した研修した内容は、教科横断的な資質・能力の育成に関する指導（例：問題解決能力、学び方の学習）。	1.63	0.65
020-14	過去 12 か月の間（平成 27 年 12 月から平成 28 年 11 月）に経験した研修した内容は、進路指導やキャリア教育の知識や技能。	2.00	0.78
020-15	過去 12 か月の間（平成 27 年 12 月から平成 28 年 11 月）に経験した研修した内容は、教育相談やカウンセリングの知識や技法。	2.02	0.74
020-16	過去 12 か月の間（平成 27 年 12 月から平成 28 年 11 月）に経験した研修した内容は、アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善。	1.59	0.58
020-17	過去 12 か月の間（平成 27 年 12 月から平成 28 年 11 月）に経験した研修した内容は、カリキュラム・マネジメント。	1.64	0.67
020-18	過去 12 か月の間（平成 27 年 12 月から平成 28 年 11 月）に経験した研修した内容は、組織マネジメント。	1.73	0.64
021-1	過去 12 か月の間（平成 27 年 12 月から平成 28 年 11 月）に経験した研修の方法は、他の教員との共同学習や研究活動。	1.20	0.40
021-2	過去 12 か月の間（平成 27 年 12 月から平成 28 年 11 月）に経験した研修の方法は、「座学」以外の参加型・体験型学習の機会。	1.27	0.44
021-3	過去 12 か月の間（平成 27 年 12 月から平成 28 年 11 月）に経験した研修の方法は、自校や自らの実践の報告。	1.17	0.38
021-4	過去 12 か月の間（平成 27 年 12 月から平成 28 年 11 月）に経験した研修の方法は、数週間から数か月に渡り、複数回に分けて行われる長期研修。	1.82	0.39
021-5	過去 12 か月の間（平成 27 年 12 月から平成 28 年 11 月）に経験した研修の方法は、2 日から 1 週間程度の短期集中型研修。	1.85	0.36
022-1	自分の力量形成で不十分だと感じているのは、担当教科等に関する知識と理解。	2.91	0.61
022-2	自分の力量形成で不十分だと感じているのは、担当教科等の指導法に関する能力。	2.89	0.57

022-3	自分の力量形成で不十分だと感じているのは、教育課程（カリキュラム）に関する知識。	2.79	0.68
022-4	自分の力量形成で不十分だと感じているのは、児童の評価や評価方法。	2.83	0.59
022-5	自分の力量形成で不十分だと感じているのは、学習指導用の ICT 技能。	2.55	0.79
022-6	自分の力量形成で不十分だと感じているのは、学習指導以外の ICT 技能。	2.60	0.82
022-7	自分の力量形成で不十分だと感じているのは、学習指導以外の職務用の ICT。	3.03	0.53
022-8	自分の力量形成で不十分だと感じているのは、児童の活動と学級経営。	2.17	0.70
022-9	自分の力量形成で不十分だと感じているのは、学校の管理運営、法規、生徒に関する知識。	2.86	0.63
022-10	自分の力量形成で不十分だと感じているのは、個に応じた学習指導の手法。	2.60	0.66
022-11	自分の力量形成で不十分だと感じているのは、特別な支援を要する児童への指導。	2.86	0.57
022-12	自分の力量形成で不十分だと感じているのは、児童の健康や安全に関する指導。	2.06	0.69
022-13	自分の力量形成で不十分だと感じているのは、多文化、多言語環境における指導（日本語指導を含む）。	2.66	0.63
022-14	自分の力量形成で不十分だと感じているのは、教科横断的な資質・能力の育成に関する指導。	2.32	0.69
022-15	自分の力量形成で不十分だと感じているのは、進路指導やキャリア教育の知識や技法。	2.52	0.69
022-16	自分の力量形成で不十分だと感じているのは、アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善。	2.52	0.67
022-17	自分の力量形成で不十分だと感じているのは、カリキュラム・マネジメント。	2.33	0.70
022-18	自分の力量形成で不十分だと感じているのは、組織マネジメント。	2.16	0.71
023-1	研修に参加する場合の、勤務日程上の調整の影響。	1.50	0.60
023-2	研修に参加する場合の、費用の高さの影響。	2.30	0.86
023-3	研修に参加する場合の、資格や経験、勤務年数などの要件不足の影響	2.75	0.78

	響。		
023-4	研修に参加する場合の、家庭の都合との調整の影響。	2.66	0.92
023-5	研修に参加する場合の、参加する動機やきっかけのなさの影響。	2.39	0.82
023-6	研修に参加する場合の、自分のニーズや希望と合わない内容の影響。	2.02	0.76
026-1	担当学級の児童は、私語が少ない。	2.30	0.86
026-2	担当学級の児童は、自分から疑問を持つ。	2.49	0.66
026-3	担当学級の児童は、落ち着きがある。	2.12	0.80
026-4	担当学級の児童は、時や場や状況にふさわしい態度をとる。	2.08	0.73
026-5	担当学級の児童は、児童同士、仲が良い。	1.60	0.61
026-6	担当学級の児童は、外遊びや運動を好む。	1.88	0.66
026-7	担当学級の児童は、熱心に勉強する。	2.13	0.66
026-8	担当学級の児童は、音楽活動を好む。	2.01	0.68
026-9	担当学級の児童は、敬語を使える。	2.23	0.77
026-10	担当学級の児童は、読書を好む。	2.05	0.71
026-11	担当学級の児童は、語彙数が少ない。	2.17	0.68
027-1	担当学級の児童の学習の様子は、教員の話を中心して聞く。	2.00	0.68
027-2	担当学級の児童の学習の様子は、教室内が騒々しい。	2.90	0.79
027-3	担当学級の児童の学習の様子は、自分で課題を設定できる。	2.57	0.60
027-4	担当学級の児童の学習の様子は、発言や発表の工夫をする。	2.47	0.65
027-5	担当学級の児童の学習の様子は、情報や資料を活用できる。	2.25	0.55
027-6	担当学級の児童の学習の様子は、筋道を立てて話をする。	2.47	0.58
027-7	担当学級の児童の学習の様子は、忘れ物をする。	2.45	0.72
027-8	担当学級の児童の学習の様子は、他の児童の話を中心して聞く。	2.09	0.65
027-9	担当学級の児童の学習の様子は、授業開始時、静かになるまで時間がかかる。	3.07	0.84
027-10	担当学級の児童の学習の様子は、学習に適した雰囲気を作り出す。	1.99	0.65
027-11	担当学級の児童の学習の様子は、授業の邪魔をしようとする。	3.64	0.59
027-12	担当学級の児童の学習の様子は、間違いやつまづきを冷やかさない。	1.77	0.81
027-13	担当学級の児童の学習の様子は、活発に発言する。	2.33	0.76
027-14	担当学級の児童の学習の様子は、宿題をきちんとやってくる。	2.00	0.63
028-1-1	学級全体や学級内のグループによる話し合い活動は、今年度どれくらい、授業等に取り入れていますか。	2.78	1.37
028-2-1	今年度、自分の学級では、児童自ら、学級やグループで課題を設定	2.02	0.60

	する活動を行った。		
028-2-2	今年度、自分の学級では、課題の解決に向けて話し合う活動を行った。	1.56	0.53
028-2-3	今年度、自分の学級では、児童が話し合いを記録する活動を行った。	2.41	0.71
028-2-4	今年度、自分の学級では、話し合った内容を発表する活動を行った。	1.64	0.57
028-2-5	今年度、自分の学級では、話し合いを通して、新たな課題を発見する活動を行った。	2.40	0.71
028-3-1	担当学級の児童は話し合い活動で、自分の考えを相手に伝える。	2.07	0.55
028-3-2	担当学級の児童は話し合い活動で、相手の考えを最後まで聞く。	1.95	0.63
028-3-3	担当学級の児童は話し合い活動で、話し合いの内容を自分に関係ある問題としてとらえる。	2.27	0.59
028-3-4	担当学級の児童は話し合い活動で、話し合いが進む雰囲気を作る。	2.03	0.63
028-3-5	担当学級の児童は話し合い活動で、自分の考えを深め、広げる。	2.48	0.57
028-3-6	担当学級の児童は話し合い活動で、理由（根拠）をつけて意見を言う。	2.03	0.56
028-3-7	担当学級の児童は話し合い活動で、話し合いの目的（結論をだすのか、考えを広げるのかなど）に応じた話し合いをする。	2.31	0.60
028-3-8	担当学級の児童は話し合い活動で、児童同士で教え合う。	1.67	0.56
029-1	学習指導に関する事柄について、ノート指導に課題を感じる。	2.45	0.61
029-2	学習指導に関する事柄について、学習のきまりの指導に課題を感じる。	2.82	0.61
029-3	学習指導に関する事柄について、話し合い活動の指導に課題を感じる。	2.43	0.65
029-4	学習指導に関する事柄について、板書指導の技術に課題を感じる。	2.57	0.64
029-5	学習指導に関する事柄について、掲示物の工夫や活用に課題を感じる。	2.56	0.69
029-6	学習指導に関する事柄について、タブレット、電子黒板等の機器利用に課題を感じる。	2.34	0.86
029-7	学習指導に関する事柄について、プリント、ワークシートの活用に課題を感じる。	2.92	0.61
029-8	学習指導に関する事柄について、ティームティーチングや少人数指導に課題を感じる。	2.73	0.68
029-9	学習指導に関する事柄について、異学年交流を用いた指導に課題を感じる。	2.59	0.78

029-10	学習指導に関する事柄について、総合的な学習の時間の指導に課題を感じる。	2.44	0.70
029-11	学習指導に関する事柄について、道徳の指導に課題を感じる。	2.50	0.65
029-12	学習指導に関する事柄について、学級活動の指導に課題を感じる。	2.65	0.61
030-1	学習評価について、正確さを重視する。	1.48	0.53
030-2	学習評価について、客観性を重視する。	1.63	0.52
030-3	学習評価について、評価方法の適切さ（妥当性）を重視する。	1.53	0.53
030-4	学習評価について、根拠となる資料を重視する。	1.43	0.53
030-5	学習評価について、保護者への説明を重視する。	1.72	0.60
030-6	学習評価について、他の教員との足並みを重視する。	1.83	0.61
030-7	学習評価について、児童への励ましを重視する。	1.52	0.60
030-8	学習評価について、児童が自分で丸付けや間違い直しができるようになることを重視する。	1.84	0.68
030-9	学習評価について、児童による授業の振り返りを重視する。	1.73	0.59
031-1	先生がわかりやすく説明をする授業の実施に自信がある。	2.12	0.50
031-2	学級やグループで児童が話し合う授業の実施に自信がある。	2.20	0.50
031-3	児童が情報を集めて課題を解決する授業に自信がある。	2.42	0.57
031-4	練習問題を解かせて習熟させる授業に自信がある。	2.01	0.42
032	道徳の時間で、児童自らが考え話し合う指導は、どれくらい行っていますか。	1.98	1.05
033	現在の担当学級の児童の家庭学習のようす（通塾や習い事を除きます）は、どれくらいだと思いますか。	2.20	0.53
034	現在の担当学級の児童のうち、学習塾に通っている割合は、どれくらいだと思いますか。	2.15	0.94

2.1.2. 因子分析

次に、領域ごとに因子分析を行った。問 10 から問 16 は校長など対象の学校質問紙①の設問である。

問 10 「平成 28 年度全国学力・学習状況調査」の扱い

項目	I	II	III
<指導改善への活用>	$\alpha=.803$		
10-10 全国学力・学習状況調査の結果の活用に当たり、具体的な学習指導の改善に生かすことを重視し	.878	-.059	-.054

	た。			
10-11	全国学力・学習状況調査の結果の活用に当たり、児童一人ひとりの学習改善に生かすことを重視した。	.722	-.018	.034
10-12	全国学力・学習状況調査の結果の活用に当たり、指導計画の改善に生かすことを重視した。	.654	.012	.002
10-9	全国学力・学習状況調査の結果の活用に当たり、めざすべき学力の特徴を理解することを重視した。	.596	.089	.010
<保護者等への説明と協力依頼>		$\alpha=.748$		
10-13	全国学力・学習状況調査の結果の活用に当たり、保護者や地域への説明責任を果たすことを重視した。	-.071	.909	.013
10-5	全国学力・学習状況調査の結果の共有について、保護者会や地域の集会等で説明した。	.005	.632	-.120
10-14	全国学力・学習状況調査の結果の活用に当たり、学力向上の取組について、具体的な協力を保護者や地域の方々から得ることを重視した。	.152	.554	.021
10-7	全国学力・学習状況調査の結果の共有について、ホームページや学校だより等に掲載した。	-.027	.513	.076
<結果の分析・共有>		$\alpha=.712$		
10-3	全国学力・学習状況調査の結果の共有について、調査対象の学年で確認・共有した。	-.060	-.106	.712
10-4	全国学力・学習状況調査の結果の共有について、学校全体で確認・共有した。	.093	.100	.650
10-2	全国学力・学習状況調査について、自校の結果を独自に分析した。	.057	.009	.602
10-8	全国学力・学習状況調査の結果の活用に当たり、全国平均や都道府県平均等と比較することを重視した。	-.049	.025	.441
10-1	全国学力・学習状況調査について、学校の教職員が独自に採点を行った。	.012	-.019	.432
10-6	全国学力・学習状況調査の結果の共有について、	.009	.193	.206

学区内の中学校と共有した。

	因子間相関	I	.487	.603
		II		.585

因子分析の結果、全国学力・学習状況調査の扱いについては、「指導改善への活用」に関わる第1因子、「保護者等への説明と協力依頼」に関わる第2因子、「結果の分析・共有」に関わる第3因子が析出された。

12 学校のビジョン（学校がめざす児童の姿や重点的に取り組む教育活動など）の共有範囲

		I	II
<校外関係者とのビジョン共有>		$\alpha=.772$	
12-7	学校のビジョン（学校がめざす児童の姿や重点的に取り組む教育活動など）を、ボランティア等に関わる学校外の関係者と共有している。	.799	-.182
12-5	学校のビジョン（学校がめざす児童の姿や重点的に取り組む教育活動など）を、授業に関わらない非常勤職員（スクールカウンセラー、非常勤の事務職員など）と共有している。	.683	-.030
12-8	学校のビジョン（学校がめざす児童の姿や重点的に取り組む教育活動など）を、地域（主に校区）の住民と共有している。	.642	.018
12-4	学校のビジョン（学校がめざす児童の姿や重点的に取り組む教育活動など）を、非常勤講師、授業に関わる非常勤教職員（ALT、特別支援教育支援員など）と共有している。	.562	.088
12-6	学校のビジョン（学校がめざす児童の姿や重点的に取り組む教育活動など）を、保護者と共有している。	.445	.243
<校内でのビジョン共有>		$\alpha=.770$	
12-2	学校のビジョン（学校がめざす児童の姿や重点的に取り組む教育活動など）を、常勤の、授業を行う教員（教諭、常勤講師）と共有している。	-.112	.993
12-1	学校のビジョン（学校がめざす児童の姿や重点的に取り組む教育活動など）を、管理職、主幹	-.072	.644

	教諭，各主任と共有している。		
12-3	学校のビジョン（学校がめざす児童の姿や重点的に取り組む教育活動など）を，授業が主たる業務ではない常勤の職員（事務職員，学校栄養職員など）と共有している。	.341	.432
12-9	学校のビジョン（学校がめざす児童の姿や重点的に取り組む教育活動など）を，児童と共有している。	.368	.373
因子間相関			.596

因子分析の結果、学校のビジョンの共有範囲については、「校外の関係者とのビジョンの共有（第1因子）」と「校内でのビジョンの共有（第2因子）」が析出された。

問 13 各種の指導計画を作成する際、重視すること

		I	II	III
<基本的重点課題の重視>		$\alpha=.819$		
13-5	各種の指導計画を作成する際、「PDCA サイクル」の遂行を重視する。	.696	-.045	.018
13-2	各種の指導計画を作成する際、言語活動を重視する。	.646	-.105	-.077
13-1	各種の指導計画を作成する際、教科横断的な視点を重視する。	.611	-.083	-.034
13-3	各種の指導計画を作成する際、知識・技能の活用を重視する。	.585	.064	-.026
13-4	各種の指導計画を作成する際、学校の教育目標に応じた教育内容の組織を重視する。	.571	.144	-.045
13-6	各種の指導計画を作成する際、指導事項の系統性を重視する。	.533	.088	.055
13-8	各種の指導計画を作成する際、児童の実態に関する調査結果や資料を重視する。	.447	.132	.068
13-9	各種の指導計画を作成する際、前年度のカリキュラム評価の結果を重視する。	.373	.298	-.012
13-7	各種の指導計画を作成する際、地域の現状等に関する調査結果や資料を重視する。	.333	.010	.241

<組織的な取り組みの重視>		$\alpha=.787$		
13-15	各種の指導計画を作成する際、多くの教職員が参加して指導計画を作成することを重視する。	-.179	.923	-.015
13-16	各種の指導計画を作成する際、評価計画を立てることを重視する。	.104	.728	-.050
13-14	各種の指導計画を作成する際、学校の研究テーマを重視する。	.094	.498	.025
13-13	各種の指導計画を作成する際、特別な支援を要する児童の個別の指導計画を重視する。	.138	.381	.095
<人的・物的資源の重視>		$\alpha=.767$		
13-11	各種の指導計画を作成する際、校外からの人的・物的資源の導入を重視する。	.018	-.094	.831
13-10	各種の指導計画を作成する際、人的・物的資源の導入を重視する。	-.068	-.012	.829
13-12	各種の指導計画を作成する際、財政面の負担を重視する。	-.012	.165	.573
因子間相関		I	.692	.374
		II		.391

因子分析の結果、各種の指導計画を作成する際に重視することについては、PDCA サイクルや言語活動、教科横断的な視点など、学習指導要領で要点とされる事項を重視する「基本的重点課題の重視（第 1 因子）」、教職員の参加や学校の研究テーマの重視、確実な評価のための計画段階に評価計画を織り込むなどより組織的な展開を期することに関わる「組織的な取り組みの重視（第 2 因子）」、学校内外の人的・物的資源など条件整備を重視する「人的・物的資源の重視（第 3 因子）」が析出された。なお、この間は、カリキュラム・マネジメントの計画段階に該当する設問である。

問 15 教職員が実施していること

		I
<教職員の協働>		$\alpha=.791$
15-4	この学校の教職員は、国語科に限定せず、言語	.763

	活動に取り組む。	
15-3	この学校の教職員は、言語活動の充実のために、話し合っ て検討する。	.731
15-2	この学校の教職員は、学習指導と学習評価の計画を、協 力して作成する。	.633
15-5	この学校の教職員は、学校特有の学力傾向や課題を共有す る。	.626
15-6	この学校の教職員は、学年・学級運営の状況や課題を共有す る。	.527
15-1	この学校の教職員は、校外の研修や研究会に参加する。	.445

因子分析の結果、教職員が実施していることについては、1因子性が確認された。因子負荷量が最も低い「15-1 校外の研修や研究会に参加する（因子負荷量.445）以外は、学校内で課題などを共有し、教職員同士が組織的に協働する様子といえるため、因子名は「教職員の協働」とした。

問 16 校長等からみた教職員の様子

		I	II	III
<同僚性>		$\alpha=.868$		
16-6	この学校の教職員の様子は、お互い助け合い、協力的である。	.906	-.241	.059
16-1	この学校の教職員の様子は、同僚の考え方を相互に尊重する。	.679	-.096	.161
16-7	この学校の教職員の様子は、会議で発言をしやすい。	.636	.140	-.134
16-3	この学校の教職員の様子は、各自の成功を共有する雰囲気がある。	.634	.040	.115
16-8	この学校の教職員の様子は、困難な問題をオープンに話し合う。	.558	.260	-.087
16-9	この学校の教職員の様子は、経験の浅い教職員に寛容である。	.501	.144	.059
16-16	この学校の教職員の様子は、教職員が一丸となった取り組みをする。	.491	.357	-.088
<カリキュラム・マネジメントの実践>		$\alpha=.853$		

16-19	この学校の教職員の様子は、各教科等の教育目標や内容の相互関連を意識して授業する。	-.131	.833	.040	
16-18	この学校の教職員の様子は、互いの実践上の知識や技能を提供し合う。	.179	.686	-.039	
16-20	この学校の教職員の様子は、指導の改善に役立つ記録（メモ）を残す。	-.207	.661	.194	
16-15	この学校の教職員の様子は、新しい指導に積極的にチャレンジする。	.162	.571	.013	
16-17	この学校の教職員の様子は、立場に応じてリーダーシップを発揮する。	.184	.551	.040	
16-5	この学校の教職員の様子は、学校教育に関する信念を共有している。	.208	.462	.036	
16-4	この学校の教職員の様子は、勤務外で私的に交流する。	.108	.245	.087	
16-2	この学校の教職員の様子は、地域と連携を図っている。	.051	.221	.133	
<児童志向>		$\alpha=.783$			
16-12	この学校の教職員の様子は、児童との関係が良好である。	.008	-.033	.879	
16-13	この学校の教職員の様子は、児童の発言や意見に関心をもつ。	.059	.123	.613	
16-11	この学校の教職員の様子は、児童の幸福を重視する。	.224	.118	.453	
16-14	この学校の教職員の様子は、児童の卒業後も交流がある。	-.108	.246	.340	
16-10	この学校の教職員の様子は、日常的に保護者と意見交換する。	.158	.199	.290	
		因子間相関	I	.707	.627
			II		.589

因子分析の結果、校長等からみた教職員の様子については、教職員が「16-6 お互いに助け合い、協力的である」など「同僚性」に関わる第1因子が析出された。また、第2因子は、「16-19 各教科等の教育目標や内容の相互関連を意識して授業する」など、教育課程の実施段階におけるカリキュラム・マネジメント行動といえるため「カリキュラム・マネジメントの実践」とした。第3因子は、児童との関係や児童への関心から構成されるため「児童志向」とした。